

古文書史料目録

第 27 号

後藤利雄収集文書

平成 17 年 3 月

山形大学附属博物館

凡 例

1. 本目録は、元山形大学名誉教授 故後藤利雄氏（山形市緑町）が生前収集された文書で、氏の没後ご遺族から寄贈を受け、順次整理・記録したものである。
2. 氏の収集文書の主なるものが俳諧書であったため、これまでの本館の古文書資料目録（地方文書）とはいささか体裁を異にした様式となったことを、予めご了解いただきたい。
3. 本目録には、紙面の関係上、寄贈資料のうち江戸期に刊行もしくは筆写されたものを収録し、明治期以降のものは巻末に一覧表にして掲載した。
4. 目録の形態は下記による。

番号	書 名 ※書名は基本的に外題のとおり表記した			刊写年時（含伝承）	残存
巻数	数量	全	寸法	表紙 縦	cm×横 cm
		丁			
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 7 その他					
※ 「7 その他」には、1～6 以外の所見を記入					
※ ■は判読不可能の字					

5. 分類番号は、天理大学図書館による「近世資料主題分類法」を一部改訂した別表によるもので、できるだけ年代順に配列し、確定に至らないものは後にまとめた。

なお、本目録作成のための整理にあたり、後藤喜久氏、高宮綾子氏、明海大学教授山本陽史氏に多大なるご尽力を賜りましたことをここに記して、感謝の意を表します。

後藤利雄氏について

後藤氏は、昭和24年に山形大学に奉職以来、万葉集に関する国文学的研究に多くの業績を残された。氏の研究分野と興味の対象は古代文学のみならず、西行の研究、山形県方言辞典の編著、氏自身の従軍体験記の発行、エッセーの執筆など多岐にわたる。

なかでも特筆すべきこととして、本目録に収集された俳諧書の研究がある。私費を投じて県内外の古書店から集められた俳諧・川柳書のうち、県内関係の一部を複製し刊行するなど、地域文化の向上に寄与した功績は多大である。

また、氏は在職中の昭和43年から54年までの長きにわたり本館の運営委員を務められた。それまで「山形大学郷土博物館」と称していた本館がその性格に普遍性・国際性を備えてきたことから「山形大学附属博物館」と名称を変更したのが昭和53年、氏はその際の主要な協議メンバーとして本館の運営にも尽力されている。

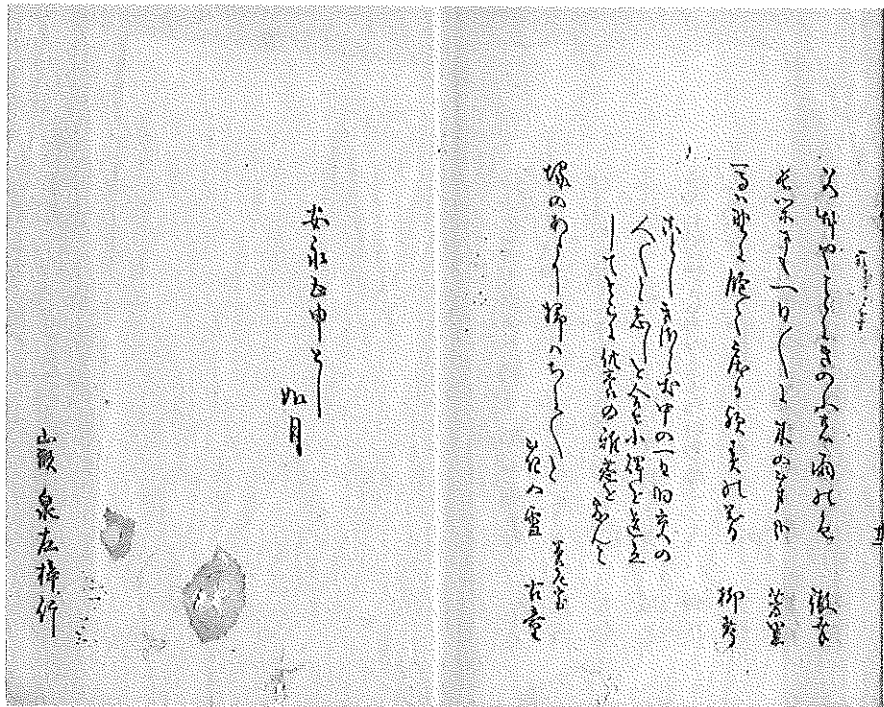
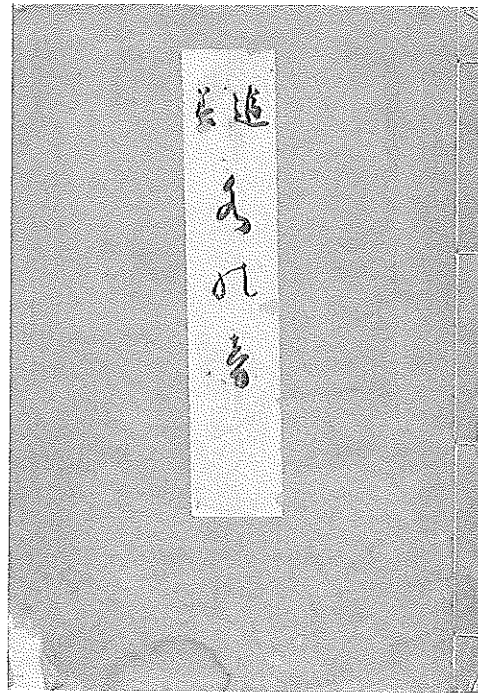
後藤利雄略年譜（高宮綾子氏作成のものを転用）

- 1922年（大正11） 最上郡東小国村（現最上町）に父、阿部巳次郎、母、サダノの子として十人兄弟の末っ子に生まれる
- 1940年（昭和15） 旧制山形高等学校に入学
- 1941年（昭和16） 後藤志満の養子となる
- 1942年（昭和17） 東京帝国大学文学部国文科入学
- 1943年（昭和18） 東大在学中に第一回学徒徴兵で盛岡工兵隊に入隊
- 1944年（昭和19） 松戸工兵学校に入学。9月南方総軍に転属、10月マニラ上陸
- 1945年（昭和20） 見習士官旭兵団に転属、工兵二十三連隊に配属。9月武装解除米軍に収容される
- 1946年（昭和21） 復員（名古屋上陸）
- 1948年（昭和23） 東京大学文学部国文科卒業
- 1949年（昭和24） 旧制山形高等学校講師と山形大学助手を兼ねる
- 1955年（昭和30） 「形成」に入会、木俣修に師事

- 1967年（昭和42） 山形大学助教授（人文学部）
- 1973年（昭和48） 政府派遣遺骨収集団に加わりルソン島の遺骨収集に従事
- 1974年（昭和49） 山形大学教授（人文学部）
- 1977年（昭和52） 形成山形支部長となる
- 1980年（昭和55） 山形大学人文学部長併任（59年3月迄）
- 1983年（昭和58） 上代文学会理事（平成5年迄）
- 1984年（昭和59） 県歌人クラブ理事、翌年選者
- 1985年（昭和60） 最上中学校校歌作詞
- 1986年（昭和61） 専称寺の木俣修歌碑建立発起人
- 1987年（昭和62） 山形大学定年退官（名誉教授）、山形女子短期教授。社会保険センター短歌教室講師
- 1989年（平成元） 山形県歌人クラブ副会長
- 1993年（平成5） 西蔵王三百坊に西行歌碑建立発起人。「形成」解散
- 1994年（平成6） 大西民子、持田勝穂創刊の短歌誌社「波濤」に参加。選者となる
- 1995年（平成7） 山形女子短期大学退職。県歌人クラブ会長。山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会委員
- 1998年（平成10） 勲三等旭日中綬賞授与
- 1999年（平成11） 社会保険センター短歌教室講師辞任、県歌人クラブ名誉会長。
NHK文化センター万葉集講座講師18回。齋藤茂吉記念全国大会運営委員
- 2001年（平成13） 6月27日、山形済生病院にて逝去、享年80歳

別 表

分類 番号	項 目	分類 番号	項 目	分類 番号	項 目	分類 番号	項 目	分類 番号	項 目
00	總 記	10	支 配	20	土地・租稅	30	町 村 制	40	治安・救恤
01	歷 史	11	領 主	21	檢 地 帳	31	町村役人	41	警備・取締
02	伝 記	12	藩 士	22	石 高 帳	32	町村行政	42	騷 擾
03	地 理	13	役 職	23	割付・取立	33	町村規定	43	違法・犯罪
04	地 図	14	政 務	24	上 納	34	町村財政	44	訴 訟
05	紀 行	15	法 令	25	正 稅	35	五 人 組	45	裁 判
06	博物・医学 理数	16	財 政	26	附 加 稅 雜 稅	36	戶 口	46	凶 荒
07	美術・芸能	17	藩 營 事 業	27	国役・夫役	37	郷士・浪人	47	災 害
08	文 芸	18	軍 事	28	田畑・屋舖	38	百姓・町人	48	救 恤
09	学芸・教育	19	藩 学	29	林 野	39	穢多・非人	49	医療・福祉
50	農林・水産 鉱 工 業	60	土 木・交 通	70	金 融・商 業	80	寺 社	90	家制・民俗
51	農民・耕作	61	建 築	71	通 貨	81	教理・教派	91	家 系
52	農 産 物 畜 産	62	道 路	72	金 融 機 関	82	社 寺 法 規	92	家 族・相 統
53	林 業	63	治 水	73	質 物	83	神 官・僧 侶	93	家 産・生 業
54	水 産 業	64	水 利	74	貸 借	84	祭 典・宗 儀	94	食 制・服 制
55	工 業 經 營	65	交 通	75	売 買	85	祭 器	95	礼 儀 作 法
56	織 維 工 業	66	宿 駅	76	商 組 織	86	宝 物	96	冠 婚 葬 祭
57	雜 工 業	67	助 郷	77	商 人	87	建 造 物	97	民 間 信 仰
58	食 品 加 工 業	68	運 輸	78	米 穀	88	社 寺 經 濟	98	年 中 行 事 娛 樂・芸 能
59	鉱 山 業	69	通 信	79	商 品 相 場	89	布 教・伝 道	99	方 言・伝 説



(00) 総 記

番号 00-01	書名 経書字辨 上・下	刊写年時(含伝承) 元禄11年 文政7年5月 写	残存 全 存
巻数 2巻	数量 1冊	全 59丁	寸法 表紙 縦25.0cm×横19.0cm
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ② 「元禄十一年戊寅孟春穀旦作出 干時 文政七年申五月廿一日写之」 この後に筆写者の署名があるが墨で消されている ⑦ 裏表紙に「江藤真熊」「本田糺馬」の署名が記されている(別筆)			

番号 00-02	書名 六書精蘊 三之上 人 倫	刊写年時(含伝承) 不明 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 44丁	寸法 表紙 縦22.9cm×横16.5cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし			

(01) 歴 史

番号 01-01	書名 近世叢書 一・二、三・四、 五・六、七・八		刊写年時(含伝承) 文政十一年 刊 (天保改正)	残存 全 存
巻数 8巻	数量 4冊	全 33丁	寸法 表紙 縦25.3cm×横17.9cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ① 四冊めに 「文政十一年戊子冬 心齋橋通安土町 浪華書肆 加賀屋善藏」 ⑦ 豊後岡 角田簡(九華)の著				

番号 01-02	書名 東国太平記 十三、十四、 十五、十六上		刊写年時(含伝承) 不明 刊	残存 巻 十三、十四、 十五、十六上 存
巻数 4巻	数量 4冊	全 13 22丁 14 24丁 15 23丁 16上 19丁	寸法 表紙 縦26.2cm×横18.4cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし				

(02) 伝 記

番号 02-01	書名 品川問答	刊写年時 (含伝承) 江戸中期カ 写		残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 12.5丁	寸法 表紙 縦23.3cm×横16.5cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ①・表紙見返しに 「文化五辰年 後藤又兵衛基次 吉田■風 文政十三年寅八月吉日 八月十五日」 とあり、何人かの筆が混ざっている ・最後の一丁分にも様々な落書き状の書き入れがあり、その中に「羽州最上山形旅籠町」「後藤屋又兵衛」と見え、旅籠町の旅館であった後藤家旧蔵かと思われる				

(03) 地 理

番号 03-01	書名 御江戸往来泰平楽	刊写年時 (含伝承) 江戸期カ 刊		残存 表紙と見返しのみ存
巻数 1巻	数量 1冊	全 0丁	寸法 表紙 縦26.7cm×横16.7cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 表紙と見返しのみ残存 版本は題の上部の商標 (鶴) から察するに鶴屋喜右衛門であろう				

番号 03-02	書名 絵本詠物選 卷二		刊写年時(含伝承) 江戸期カ 刊	残存 卷二存
巻数 1巻	数量 1冊	全 24丁	寸法 表紙 縦17.2cm×横13.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦ 裏見返しに 「此本何方江参り候共 私方江 御返シ可被下候 赤岩村 持主 田口喜三郎」				

番号 03-03	書名 吉原細見		刊写年時(含伝承) 幕末頃カ 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 37丁	寸法 表紙 縦17.9cm×横11.9cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦ 江戸吉原の案内本 序に「卯の春 寿海山人 するす」				

(06) 博物・医学・理数

番号 06-01	書名 かてもの	刊写年時(含伝承) 享和二年三月 享和三年二月 写		残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 18丁	寸法 表紙 縦13.1cm×横16.1cm	
資料の所見 1 刊記 ②奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
② 「享和二年三月 中條 菖戸 享和三年亥二月 吉辰 長岡道伯将景 写」				
⑦・表紙に書き入れ 「長岡多仲 江戸居中 長岡伊三郎」				
・凶作に備えて「かてもの」をいろはの順に紹介したもの				

番号 06-02	書名 方金類要	刊写年時(含伝承) 天保四年 刊		残存 巻一存
巻数 1巻	数量 1冊	全 106丁	寸法 表紙 縦25.4cm×横17.8cm	
資料の所見 ①刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
① 扉に 「松浦琴鶴先生著 浪華観涛閣歳梓」				
⑦ 方位吉凶図				

番号 06-03	書名 和漢稀世 古銭図録 坤		刊写年時 (含伝承) 安政二年十二月 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 28.5丁	寸法 表紙 縦22.5cm×横15.4cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・跋に 「安政二年乙卯冬十二月 文林堂泉壽」 ・明治以降再販 ・珍銭、贗銭、絵銭等も掲載				

番号 06-04	書名 和語本草綱目		刊写年時 (含伝承) 不明 刊	残存 卷十二、十三 存
巻数 2巻	数量 1冊	全 55丁	寸法 表紙 縦21.6cm×横15.5cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦「洛下 法橋 岡本為竹一抱子 撰」				

(08) 文 芸

番号 08-01	書名 侮草		刊写年時(含伝承) 慶安二年 刊	残存 卷下存
巻数 1巻	数量 1冊	全 25丁	寸法 表紙 縦28.0cm×横18.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ①「慶安二年暮春吉辰」 ⑦・内題「侮草目録 下」 ・裏表紙等に元所有者のものと思われる書き入れ				

番号 08-02	書名 古今和歌六帖 五、六		刊写年時(含伝承) 寛文九年 刊	残存 卷五、六 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 5 64丁 6 70丁	寸法 表紙 縦 26.1cm×横 18.7cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ① 卷六最終丁裏に 「寛文九巳酉年嘗婦吉日 吉田四郎右衛門 開 板」				

番号 08-03	書名 連歌手引の系 上・下		刊写年時(含伝承) 宝永六年 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 2冊	全 上 131丁 下 155丁	寸法 表紙 縦15.9cm×横10.8cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ① 「宝永六己丑正月吉日 京錦小路通新町西江入町 永田調兵衛 開板」 ⑦ 上・下共 表裏見返しに「貞勝」の墨書				

番号 08-04	書名 藤の首途 天		刊写年時(含伝承) 享保年間 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 23丁	寸法 表紙 縦22.5cm×横16.1cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ① 支考一門の俳諧書				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-05	初茄子 全		享保十二年 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	24丁	表紙 縦18.3cm×横17.1cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・序に「洛吾仲序説」「享保丁未冬十月日」 ・跋に「仙里紅」「享保戊申のとし卯月中浣」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-06	狂歌 餅月夜		元文五年八月 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	36.5丁	表紙 縦22.9cm×横16.1cm	
資料の所見 ①刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 裏見返しに 「北久太郎町心齋橋筋 大坂書林 丹波屋傳兵衛 元文五年庚申八月 彫師 川崎五郎兵衛」				
② 裏見返しに「照空(花押)」				
⑦・一丁めに「わたやのほん」の朱印 ・表紙に「狂歌」と鉛筆書き				

番号 08-07	書名 諸国翁墳記	刊写年時(含伝承) 宝暦十一年 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 20.5丁	寸法 表紙 縦20.6cm×横16.0cm
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ① 表紙に 「江州粟津 義仲寺藏板」 ⑦ 序に 「俳諧頭陀於義仲寺僑居書 宝暦辛巳弥生如可正日」			

番号 08-08	書名 ミの>旅寝(美濃の旅寝)	刊写年時(含伝承) 明和五年以降 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 10丁	寸法 表紙 縦17.9cm×横12.3cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・大石田の俳人土屋只狂が明和五年に美濃を旅した際の句集 只狂は明和頃の出羽を代表する俳人で、句集「もがみ川集」の撰者としても知られている ・十丁めの「暁花園」は只狂の雅号			

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-09	二度の波礼		明和六年以降 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	11丁	表紙 縦25.4cm×横16.5cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 「天童藩中 北村長賀」				
⑦・扉に「備(備前ヵ)岡山連中」とあり、俳書の精密な写本				
・序に「雪増庵」「明和丑夷則」				


番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-10	卯花塚		明和六年 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	15丁	表紙 縦22.5cm×横16.0cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 「京寺町二条下ル所橋屋治兵衛 板」				
⑦・序に				
「明和六巳(己の誤りヵ)丑初夏日				
南楼下				
壺尺拝九」				
・表紙裏に				
「羽 新庄 連中」				
金山				

番号 08-11	書名 ゆき > のはれ 全		刊写年時 (含伝承) 明和七年 刊	残存 全 存
巻数 1 巻	数量 1 冊	全 15丁	寸法 表紙 縦22.8cm×横16.2cm	
資料の所見 ①刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 7 その他				
①・最終丁裏に 「介岩明和寅初夏」 ・扉表に紅刷で「往来晴」 扉表に紅刷で「羽州最上大石田 曉華園連中 鳳宇 選 幸五」				

番号 08-12	書名 二度花 乾		刊写年時 (含伝承) 安永二年九月 刊	残存 巻乾 存
巻数 1 巻	数量 1 冊	全 30丁	寸法 表紙 縦22.8cm×横16.1cm	
資料の所見 1刊記 2 奥書 ③識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
③ 裏見返しに「柳翠主」の墨書 ⑦ 序に「安永二巳歳林鐘 松隠閑人」				

番号 08-13	書名 鳳巾の晴	刊写年時(含伝承) 安永三年以降 刊		残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 33丁	寸法 表紙 縦22.7cm×横16.0cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 序文に 「安永三甲午仲春吉辰」				

番号 08-14	書名 追善 水の音	刊写年時(含伝承) 安永五年 刊		残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 14丁	寸法 表紙 縦22.7cm×横15.8cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ① 「安永五申とし 如月 山形 泉左梓行」 ⑦・山形市内で出版されたものとしては最古であり、登場する俳人達はみな高畠在住の者である。 ・「如水」という俳人の追善句集				

番号 08-15	書名 羽黒山御本社前句抜書 万句寄勝七百壹吟		刊写年時(含伝承) 安永六年 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 48丁	寸法 表紙 縦24.0cm×横15.7cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 最終丁裏に 「安永六丁酉 遊佐戸の村(外野村) 子竜 亀月初七日」 とあり書写人か				
⑦・表紙書名の両脇に 「酒田」「出羽矢嶋 岩之澤」「  庵占木」と墨書 ・裏表紙の破損がひどく書き入れ判読不可能				

番号 08-16	書名 蓮の臺 羽隣素 編		刊写年時(含伝承) 安永九年七月 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 9.5丁	寸法 表紙 縦22.7cm×横15.7cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 「安永九年七月日 京橋屋治兵衛 板」				
⑦ 圓司居士の二十七回忌に孫の隣素が出した追悼句集				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-17	田舎ぶり紅島		安永九年五月 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	42.5 丁	表紙 縦15.7cm×横11.1cm	
資料の所見 ①刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 ⑥広告 ⑦その他				
①⑥ 裏見返しに				
<p style="text-align: center;">後編 「田舎ぶり紅島 追而出來 京寺町通二条下ル 書林 橘屋治兵衛 梓」</p>				
⑦・扉に「出羽 山形 秋江齋楓吳 選」				
・序に「安永九庚子五月 秋江齋 自序」				
・山形の俳諧連中の川柳書で、楓吾は小林風五と同人である				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-18	初一念 南紀雲止篇		天明五年以降 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	30丁	表紙 縦24.4cm×横15.4cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
⑦ 跋に				
<p style="text-align: center;">朝暮笠 「天明五巳年初夏 傘狂」</p>				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-19	誹風柳多留 廿二編		天明八年以降 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1 卷	1 冊	42丁	表紙 縦15.8cm×横11.3cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
⑦ 「柳多留」刊本の写し、原本は天明八年 刊				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-20	おくのほそ道		寛政元年再版 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1 卷	1 冊	59丁	表紙 縦16.9cm×横14.3cm	
資料の所見 ①刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 ⑥広告 ⑦その他				
①⑥ 「奥細道拾遺 全一冊出来 奥細道菅菰抄 全二冊出来 同 附 録 全一冊追テ出来 寛政元歳酉仲秋再板 洛陽蕉門書林 井筒屋庄兵衛 橘屋次兵衛」				
⑦ 跋に 「明和七寅年十月翁忌の日 湖南義仲寺の 廟前にて 蝶夢書之」				

番号	書名	刊写年時（含伝承）		残存
08-21	此小春	寛政二年 刊		全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	11.5丁	表紙 縦22.7cm×横16.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 裏見返しに「東武 廣井 秀峩 梓」（彫師カ）				
⑦・扉に 「出羽舟町 此 小 春 雪柳庵文和選」				
・序に「寛政二寅戌十月」				
・表紙に「本」と墨書				

番号	書名	刊写年時（含伝承）		残存
08-22	花の庵（後藤利雄氏命名）	寛政二年以降 写		全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	36丁	表紙 縦19.1cm×横13.0cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・表紙の題紙剝落				
・風五の句集はすべて「水蛙集」と名付けられていたのでその続きか				
・風五晩年の句集				
・裏見返しに「五冊之内 主 玉芝」				
・後十丁分ほどが切り取られている				

番号 08-23	書名 追善 霜の朝		刊写年時(含伝承) 寛政三年十一月 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 17丁	寸法 表紙 縦18.1cm×横15.8cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・扉 不二庵風五師靈追善 霜の朝 出羽舟町雪柳庵文和編				
<ul style="list-style-type: none"> ・最終丁裏に「東武廣井秀峯 梓」 ・序に「寛政三辛亥十一月下流二日」 ・跋に「朝暮老人 傘狂」(江戸の俳人で以哉坊の弟子) ・俳人 小林風五の百廿日追善句集、文和は風五第一の門弟であり、舟町の船問屋阿部三右衛門のこと 				

番号 08-24	書名 浮亀頭誠録 第五・六巻 赤堀源蔵百物語之事(実録体小説)		刊写年時(含伝承) 寛政四年 写	残存 巻五、六 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 24.5丁	寸法 表紙 縦24.1cm×横17.2cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 ③識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
③ 表紙見返しに 「寛政四壬子年 四月吉祥日 此主油屋」				
⑦ 最終丁に「最上山形旅籠町 後藤氏以来之」とあり、後藤又兵衛 旧蔵と思われる				

番号 08-25	書名 芭蕉句選 下		刊写年時(含伝承) 寛政五年 写	残存 卷下 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 30丁	寸法 表紙 縦23.9cm×横16.7cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ② 裏見返しに 「寛政五丑年四月日 竹也写之」 ⑦ 井筒屋庄兵衛板 元文四刊 芭蕉句選の写し				

番号 08-26	書名 俳諧百首		刊写年時(含伝承) 寛政六年正月 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 19丁	寸法 表紙 縦24.8cm×横15.5cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ② 「寛政六酉歳三月日 白雪廬、風五 高羽藩中 時尔寛政六甲寅歳正月 霍仙亭 黒蝶写之 ⑦ 小林風五の著を黒蝶が写したもの				

番号 08-27	書名 発句集		刊写年時（含伝承） 寛政八年 写	残存 全 存
巻数 1 巻	数量 1 冊	全 13丁	寸法 表紙 縦17.9cm×横12.0cm	
資料の所見 ①刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
① 裏見返しに 「俳名 花虹女ハ佐藤家二代」 重俱ノ室 重俱芭蕉流ノ俳 諧ヲ好ミ俳名晋水トイヘ 一生仕官ノ餘暇風流ニ遊 ビシト室亦然リシカ則遣吟ナリ」				
⑦ 表紙に 「寛政ハツのとし 発句帳 辰の 梅見月 花虹」				

番号 08-28	書名 宗匠方句集		刊写年時（含伝承） 寛政九年カ 写	残存 全 存
巻数 1 巻	数量 1 冊	全 33.5丁	寸法 表紙 縦17.3cm×横11.9cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
⑦ 表紙 「寛九己の年■月 宗匠方句集 茶一人」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-29	誹風柳多留 廿七篇		寛政九年 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	41.5丁	表紙 縦15.6cm×横11.1cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 ⑥広告 7その他				
⑥ 裏見返しに 「書肆 花屋」の出版物広告が半丁分あり				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-30	三顔合 全		寛政十年二月 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	37.5丁	表紙 縦19.0cm×横14.6cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 裏見返しに 「京寺町橘治板 寛政十年年如月 五石庵主人写」				
⑦ 序に 「夕顔庵 元文庚申孟冬日」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-31	諸用附会案文		享和四年 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	38丁	表紙 縦18.0cm×横12.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
①・巻末に「天下 一方 登龍丸」の広告				
・巻末半丁分に				
「東叡山 江戸下谷御成道 御書物所 青雲堂英文蔵製」				
⑦・序に「千時享保四歳次子初春 浅葉庵音芳」				
・さし絵入り				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-32	芭蕉翁句集全		文化二年四月 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	61丁	表紙 縦23.0cm×横16.7cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 ③識語 4極札 5箱書 6広告 7その他				
③(朱書)				
「此芭蕉翁句集ハ予が大叔父 地主文静幼名祐吉若年ニ書写 せしもの也この大叔父ハ博学にし て俳諧の上手なりしと■情かな 二十七歳にて卒せし由 田林友睦蔵」				
さらに裏見返しに「羽前鶴岡五日町 田林藤吉」の印				

番号	書名		刊写年時（含伝承）	残存
08-33	峰の雪吹		文化四年 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	27丁	表紙 縦22.5cm×横15.5cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 裏見返しに「旅籠町」「後藤又兵衛」等の墨書があり、山形旅籠町 後藤又兵衛 旧蔵と思われる				
⑦ 扉に 「三熊野文丸著 小説 峰の雪吹 画本 合川 珉 和画 書肆 玉集堂合梓」				

番号	書名		刊写年時（含伝承）	残存
08-34	追善 入る月集		文化六年 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	28丁	表紙 縦22.7cm×横16.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 「 皇都書林 寺町通二条下ル 橘屋治兵衛梓行」				
⑦・扉に 「雪柳菴文和霊七回忌 追 入る月集 善 雪柳菴琴風女 出羽舟町 継柳菴文洲輯」 ・序に「文化六己歳仲秋」				


番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-35	五月物語		文化六年 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	28丁	表紙 縦18.5cm×横12.3cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 「文化六巳年初夏於舞鶴山下の官舎写之 五臺山下藩中 柳掃園 主人」				
⑦・五月物語は出羽の俳人 小林風五の著によるもので、俳諧物語という珍しい形をとっている				
・三十六話の小物語を集め、序と抜を添えている				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-36	都野手婦利 全		文化七年 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	44丁	表紙 縦22.6cm×横16.8cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 最終丁裏「平野 蔵」				
⑦・本文冒頭に「石川雅望」の作者名				
・本文最後に「文化七ッのうまのとし卯月書写」				
・裏表紙外れ				

番号 08-37	書名 経(カ)回花日記		刊写年時(含伝承) 文化七年以降 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 26.5丁	寸法 表紙 縦22.7cm×横16.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 裏見返しに 「江戸神田佐久間町 彫工 廣井秀峯」				
⑦・一丁め表に扉題 「羽州高島 経回花日記 菰杖坊 編」 ・序文に「文化七年」				

番号 08-38	書名 三莊太夫柴苺の段 さいもん六上		刊写年時(含伝承) 文化十年 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 16丁	寸法 表紙 縦16.6cm×横10.9cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他				
② 裏見返しに 「文化十年 正月吉日 貞 吉」				

番号 08-39	書名 道元(か)居句集	刊写年時(含伝承) 文化十二年九月 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 11丁	寸法 表紙 縦18.0cm×横11.9cm
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ① 表紙に「柳柿園」の署名			

番号 08-40	書名 むかしがたり打出の浜 巻一	刊写年時(含伝承) 文化十五年 刊	残存 巻一 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 24丁	寸法 表紙 縦17.9cm×横12.2cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・序に 「文化十五のとし 浪華江南漁夫 とらの初春 野産しるす」 ・本文冒頭に 「武江市隠 南里亭基楽」の作者名 ・一丁めと最終丁へ蔵書印  朱 径3.0cm			

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-41	明のさくら 全		文政十年三月 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	12.5 丁	表紙 縦23.0cm×横16.3cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 裏見返しに 「蕉門書林 泉都寺町通二條 橘屋治兵衛梓」				
⑦・扉 芭蕉翁塚供養 明之櫻 出羽米澤五臺山下遊 ・序に「文政十亥やよひ」 ・跋に「■坊」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-42	俳諧歌場老師追副三題集		文政十二年六月 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	25丁	表紙 縦22.7cm×横15.6cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・表紙に鉛筆書きで「狂歌」とあり、狂歌師四方歌垣の追善集 ・元来、表紙はなかったと思われる。 ・森羅亭大宗匠 撰 ・凶書総目録では写本が岩手に見られるだけ				

番号 08-43	書名 俳諧故人続五百題		刊写年時(含伝承) 文政十二年以降 刊	残存 全 存
巻数 2巻 (春之部) (夏之部)	数量 1冊	全 82.5 丁	寸法 表紙 縦15.5cm×横11.3cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦・扉に 「一具庵大人撰 俳諧故人続五百題 江戸書林 青雲堂」 ・裏見返しに 「羽州最上郡 新庄金澤町 高山美晴」 と墨書あり、裏表紙にも「高山亭一峯」 ・序文に「文政己丑春正月」				

番号 08-44	書名 俳諧奇書 巻・下		刊写年時(含伝承) 天保頃カ年 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 巻 14丁 下 14丁	寸法 表紙 縦25.0cm×横17.5cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 ③識語 4 極札 5 箱書 6 広告 7 その他 ③ 「式冊之内 天保八酉年 江戸柳原にて 求む 青楓」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-45	をしまのとま屋 上・下		天保二年以降 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
2巻	2冊	上 35丁 下 35丁	表紙 縦26.5cm×横18.2cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 下巻最終丁裏 「嚶鳴館蔵板」				
⑦・序に 「天保辛卯暢月 細井徳昌謹識」 ・下巻の題 剝落のため墨書				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-46	千代鶴百人一首		天保二年再版 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	27.5丁	表紙 縦25.3cm×横17.5cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他				
① 「明和八歳辛卯正月穀旦 天保二歳辛卯正月再板 京都二條通寺町角 鶴屋喜右衛門 書林 東都本町筋通油町 藤岡屋慶次郎板」				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
08-47	神傳來問答記 全		天保五年 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1 卷	1 冊	31丁	表紙 縦24.6cm×横15.3cm	
資料の所見 1 刊記 ②奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 7 その他				
② 裏見返しに天地逆ではあるが、 「天保五年正月 写之 伊惣彌」				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
08-48	帰童老師附合抜書		天保六年 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1 卷	1 冊	86.5丁	表紙 縦18.5cm×横14.6cm	
資料の所見 1 刊記 ②奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他				
② 「此書や 蝸牛庵老師の借文 写真候もの也、青楓か俳諧の長返 せるを煩ひ授ふ■もの也 天保六未年卯月十二日 飛■亭の主人 自ら書」				
⑦・08-75と同名の書				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-49	俳諧いな目の目集		天保八年カ 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
2巻	1冊	110丁 (上下合冊)	表紙 縦23.3cm×横16.1cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・上巻には「以那乃免集」 下巻には「稲日集」とあり、上下巻を合綴したもの ・上巻 序文 鳳胡、良台 撰 下巻 抱儀 撰				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-50	美濃つたふ梅集 奚花坊 著		天保九年 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	22丁	表紙 縦22.6cm×横15.8cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他				
①「皇都寺町通二條 芭門書林 橘屋治兵衛 梓 天保九戌戌晩夏」				

番号 08-51	書名 俳諧留		刊写年時(含伝承) 天保十四年 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 91丁	寸法 表紙 縦18.5cm×横14.5cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 序に 「天保癸卯正月 双松園主人記」				

番号 08-52	書名 反古団扇		刊写年時(含伝承) 弘化二年カ 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 49丁	寸法 表紙 縦23.0cm×横16.0cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・序に「弘化二年初秋為誰庵由誓 臺斎極書 ・跋「涉望為山」 ・裏見返し「時時斎雲嶺■」				

番号 08-53	書名 脱蓑集		刊写年時(含伝承) 弘化三年九月カ 刊	残存 全 存
卷数 1 卷	数量 1 冊	全 24丁	寸法 表紙 縦22.7cm×横16.0cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦ 序文の最後に「弘化三」の書き入れと「丙午九月金陽後一日」				

番号 08-54	書名 蕉門秘傳抄 全		刊写年時(含伝承) 嘉永二年五月 写	残存 全 存
卷数 1 卷	数量 1 冊	全 32.5丁	寸法 表紙 縦26.6cm×横18.9cm	
資料の所見 1 刊記 ②奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 7 その他 ② 「此書者俳諧真流の伝書極秘之巻とも云つへし 詞道の助け博覧に備へんか為に善写する所 也猥りに窓幃の外に出すべからずと慈孫ら が為に断りおく事しかり 嘉ひ永きニ六酉年五月下院 自取庵 (花押)」				

番号 08-55	書名 羽陽の未摘花 (後藤利雄氏 命名)		刊写年時 (含伝承) 嘉永五年～安政五年 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 79丁	寸法 表紙 縦15.6cm×横12.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・置賜の方言で書かれた川柳書 ・嘉永五年から安政五年の間に書かれた ・題名も撰者も不明であるが、後藤氏が「羽陽の未摘花」と命名				

番号 08-56	書名 窓の花集		刊写年時 (含伝承) 嘉永六年 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 9丁	寸法 表紙 縦22.6cm×横15.9cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ① 最終丁裏に 「蕉門書林 皇都寺町通二條 橘屋治兵衛 梓」 ⑦・扉 文 臺 閣 窓の花集 羽州天童藩 鄧林園 青楓 編 ・序に「嘉永六丑年」 ・表紙題 下半分破損				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
08-57	傘狂責頗梨鏡		安政四年 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	32.5丁	表紙 縦24.7cm×横16.5cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 裏見返しに 「安政の巳年弥生 昇■舎 文左 主」とあり書写人か				
⑦ 表紙書名の両脇に 「南紀 塊亭難詞 西農 集虚斎陳辭」 「周南 曲斎評論 洛東 浮木庵着語」				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
08-58	義光物語 最上記 上・下		安政四年 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
2巻	2冊	上 50丁 下 50丁	表紙 縦24.7cm×横16.5cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他				
② 上巻最終丁裏に 「安政四巳年 九月 白田氏 写之」				

番号 08-59	書名 俳諧安政五百題 上		刊写年時(含伝承) 安政五年秋 刊	残存 上 存
巻数 2巻 (春之部) (夏之部)	数量 1冊	全 117丁	寸法 表紙 縦15.5cm×横11.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 扉 俳諧居墨芳輯 俳諧 安政五百題 東都書林 青雲堂梓				

番号 08-60	書名 四季四歌仙 全		刊写年時(含伝承) 慶応二年 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 9.5丁	寸法 表紙 縦23.0cm×横16.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ① 「慶応丙寅とし」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-61	俳諧 老の反		慶応二年 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	39.5丁	表紙 縦18.0cm×横13.2cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 「慶応二丙寅年 彫工 玉泉堂 喜内」				
⑦・扉に 「羽州山形 随雲軒 編」とあり、山形の俳人達の句を集めた地方の出版物 ・本文はそれぞれの自筆を彫り起こしているため字体はさまざまである				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-62	小泉敵討親子塚		慶応三年 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	69丁	表紙 縦24.0cm×横16.0cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他				
② 裏見返しに 「慶応三年丁卯仲冬書写之 羽州村山郡 樞澤邑 山川氏 蔵書」				

番号 00-63	書名 奥羽 二		刊写年時（含伝承） 江戸期カ 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 22丁	寸法 表紙 縦22.8cm×横16.0cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦・諸国俳人の発句（奥羽に関する）俳諧撰集の二冊目であろう ・書名は柱による仮のもの ・以哉坊 集				

番号 08-64	書名 奥羽 三		刊写年時（含伝承） 江戸期カ 刊	残存 奥羽三 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 27丁	寸法 表紙 縦22.7cm×横16.0cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦ 風五の師、以哉坊が奥羽を旅した時の句集				

番号 08-65	書名 俳諧論 (断片)		刊写年時 (含伝承) 江戸期カ 写	残存 一枚分 存
卷数 1 卷	数量 1 枚	全 丁	寸法 表紙 縦33.0cm×横24.3cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦ 内容は俳諧論であるが、一枚分しか残っていないため詳細不明				

番号 08-66	書名 和漢朗詠集 (巻一、二)		刊写年時 (含伝承) 江戸中期 刊	残存 全 存
卷数 2 卷	数量 1 冊	全 80丁	寸法 表紙 縦27.4cm×横17.5cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦ 丁はほとんど真ん中で切断され、汚損が激しい				

番号 08-67	書名 和漢朗詠集 註 (巻一、二)		刊写年時 (含伝承) 江戸中期 刊	残存 巻一、二 存
巻数 2巻	数量 1冊	全 61丁	寸法 表紙 縦21.6cm×横15.5cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 序に「峯寛文十年臘月廿八日 北村季吟 識」				

番号 08-68	書名 枝折集		刊写年時 (含伝承) 江戸中期カ 刊	残存 巻一、二、三、五 存
巻数 4巻	数量 4冊	全 一 48丁 二 40丁 三 36丁 四 28.5丁	寸法 表紙 縦22.6cm×横16.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ① 巻五 裏見返しに 「 蕉門書林 皇都寺町通二條 橘屋治兵衛 梓」				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-69	古今集遠鏡 三、四、五、六		江戸後期カ 刊	卷三、 四、五、 六 存
卷数	数量	全	寸法	
4 卷	4 冊	三 35丁 四 44丁 五 47丁 六 85丁	表紙 縦20.1cm×横14.2cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 ⑥広告 7その他				
① 最終丁に発行書林として 「江戸日本橋通壹一丁目 須原屋茂兵衛」ほか七名の名入り				
⑥ 巻末には二十一丁分の「古事記伝」ほかの書籍目録				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-70	詠歌一体		江戸後期カ 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1 卷	1 冊	20丁	表紙 縦27.0cm×横19.2cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦ 本文中に朱線あり				

番号 08-71	書名 羽源記 (卷四・五、六・七、 拾・拾壹上、拾壹下・拾貳)		刊写年時 (含伝承) 江戸後期カ 写	残存 下記のとおり
巻数 7巻	数量 5冊	全 四・五 101.5丁 六・七 90.0丁 八・九 97.5丁 拾・拾壹上 128.0丁 拾壹下・拾貳 88.5丁	寸法 表紙 縦24.2cm×横15.9cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし				

番号 08-72	書名 近江八景二上り志ん内		刊写年時 (含伝承) 江戸後期カ 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 4丁	寸法 表紙 縦17.1cm×横12.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 新内の歌詞集				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-73	続猿蓑集全		江戸後期カ 写	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	49丁	表紙 縦16.4cm×横12.6cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦ 版本(元禄十一年刊)の写し				

番号	書名		刊写年時(含伝承)	残存
08-74	鳳巾の晴れ 経廻之部		江戸後期カ 刊	全 存
卷数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	15.5丁	表紙 縦22.2cm×横16.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦ 裏表紙に「瓢左」の墨書				

番号 08-75	書名 帰童老師附合抜書		刊写年時(含伝承) 江戸後期カ 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 30丁	寸法 表紙 縦19.0cm×横12.2cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ②・表紙に 「辰水無月写 帰童老師附合抜書 造化仙主人」 ・08-48と同名の書				

番号 08-76	書名 上ノ山居続会		刊写年時(含伝承) 江戸後期カ 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 32丁	寸法 表紙 縦24.7cm×横17.1cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 ③識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 ③ 表紙に 「催主 星中 外四名」 上山で催した句会の記録で、おそらく「星中」が点を付けている				

番号 08-77	書名 句集 (仮)	刊写年時 (含伝承) 江戸後期カ 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 17丁	寸法 表紙 縦23.8cm×横16.1cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・俳人名は不明であるが、本人の句集に宗匠が朱で点を付けたもの ・別筆の書き入れもあり			

番号 08-78	書名 夏の山 坤	刊写年時 (含伝承) 江戸後期カ 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 29丁	寸法 表紙 縦24.0cm×横 16.9cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし			

番号 08-79	書名 櫻のゆるし 五		刊写年時(含伝承) 江戸後期カ 写	残存 卷五 存
卷数 1巻	数量 1冊	全 48丁	寸法 表紙 縦23.5cm×横15.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・卷五は九州の俳人達の俳諧撰集の写本 ・跋に「武陵 竹戎坊」				

番号 08-80	書名 正門秘説 天・地・人		刊写年時(含伝承) 江戸後期カ 刊	残存 全 存
卷数 3巻	数量 3冊	全 全 25丁 地 32丁 人 36丁	寸法 表紙 縦19.0cm×横13.6cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし				

番号	書名	刊写年時（含伝承）		残存
08-81	老の寝言	江戸後期カ 写		全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	51丁	表紙 縦27.0cm×横16.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・外題はないものの、序に「老の寝言と題し」とある				
・滑稽本、江戸小咄、古典落語などの手法を取り入れた落し咄集				
・この写本のほか、三種の写本が知られていて「山形市史編集資料第3号」に紹介されている				

番号	書名	刊写年時（含伝承）		残存
08-82	発句の秘伝	江戸後期カ 写		全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	19丁	表紙 縦9.6cm×横15.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・発句の秘伝書				
・表紙は破損				


番号 08-83	書名 季寄註解 改正月令博物筌 十二月部		刊写年時(含伝承) 江戸後期カ 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 34丁	寸法 表紙 縦8.5cm×横18.6cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし				

番号 08-84	書名 三色のけふり		刊写年時(含伝承) 江戸後期 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 11丁	寸法 表紙 縦22.4cm×横16.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 見返しに 「荒砥村越清左衛門」と墨書				

番号	書名	刊写年時(含伝承)	残存
08-85	追善手向草	江戸後期 刊	全 存
巻数	数量	全	寸法
1巻	1冊	11丁	表紙 縦22.4cm×横16.0cm
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他			
①「東武秀蛾刀」(彫師) 扉(一丁めの表) 「出羽山形 追 善 手向草 善 聴清舎里嬰 編」			
⑦ 出羽の俳人 小林風五の十三回忌追善集			

番号	書名	刊写年時(含伝承)	残存
08-86	俳諧一葉集 五	江戸末期カ 写	全 存
巻数	数量	全	寸法
1巻	1冊	87丁	表紙 縦18.5cm×横12.3cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他			
⑦・内題「俳諧一葉附合之部四」 ・一丁めに「古学庵佛号 幻窓湖中 編」			

番号 08-87	書名 謡曲 〔大伴黒主と小町〕のはなし		刊写年時(含伝承) 不明 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 14丁	寸法 表紙 縦18.4cm×横11.8cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦・表紙破損 ・謡曲「草子洗小町」を物語風にしたもの				

番号 08-88	書名 古事珍説合集 全		刊写年時(含伝承) 不明 写	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 57丁	寸法 表紙 縦23.5cm×横16.7cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他 ⑦ 一丁めと最終丁へ蔵書印  墨、径3.2cm				

番号 08-89	書名 俳諧 有や無やの関		刊写年時(含伝承) 不明 写	残存 全 存
巻数 4 巻	数量 4 冊	全 一 27.5丁 二 38.5丁 三 22.5丁 四 31.5丁	寸法 表紙 縦19.2cm×横15.7cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦・四冊を合綴 ・内題「芭蕉庵俳諧有や無やの関」				

番号 08-90	書名 他見不許 宮本武勇伝 巻一、二、三、四		刊写年時(含伝承) 不明 写	残存 全 存
巻数 4 巻	数量 4 冊	全 一 49丁 二 58丁 三 55丁 四 46丁	寸法 表紙 縦23.8cm×横16.4cm	
資料の所見 1 刊記 2 奥書 3 識語 4 極札 5 箱書 6 広告 ⑦その他 ⑦ 目録題「灘嶋仇討修業伝」				

番号 08-91	書名 美の月 四	刊写年時(含伝承) 不明 写		残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 44丁	寸法 表紙 縦16.9cm×横13.8cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし				

番号 08-92	書名 未十二月七日 日々引合実録	刊写年時(含伝承) 不 明		残存
巻数 1巻	数量 1冊	全 19.5丁	寸法 表紙 縦25.0cm×横17.3cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 7その他 特記事項なし				

番号	書名	刊写年時(含伝承)	残存
08-93	唄のほん	不明 刊	
巻数	数量	全	寸法
5巻	5冊	丁	表紙 縦 /cm×横 /cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他			
⑦・ボール紙に次の五種の冊子が合綴され、表紙に「唄のほん」墨書、五種の冊子はいずれも中本			
1「しんさく家内甚多留 二編」 江戸末期カ 7丁 表紙色摺			
2「清元都々々文句入初編」 江戸末期カ 8丁 表紙色摺			
3「新版オッペケペーぶし」 明治25年 6丁 表紙色摺			
4「お家騒動近來武士」 明治26年 5.5丁 表紙色摺			
5「当流小説(表紙欠) 江戸後期カ 15.5丁 表紙なし			
・裏表紙に「上山町 こうのや」とあるが、五種の冊子にはそれぞれ別の旧蔵者名が書き込まれている			

(09) 学芸・教育

番号	書名	刊写年時(含伝承)	残存
09-01	海外新話 一、二、三、四、五	嘉永二年 刊	
巻数	数量	全	寸法
5巻	5冊	一 19.5丁 二 22.5丁 三 27丁 四 27丁 五 22丁	表紙 縦25.8cm×横18.0cm
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他			
⑦・扉に			
「嘉永巳酉開鑄			
海外新話 全五冊			
嶺田氏蔵」			
・アヘン戦争の記録			
・落丁等伏字あり、絵(図)入り			
・序に「嘉永巳酉春三月題ス」			
「楓江釣人」			

番号 09-02	書名 女庭訓宝箱		刊写年時(含伝承) 嘉永五年 刊	残存 全 存
巻数 1巻	数量 1冊	全 74丁	寸法 表紙 縦21.5cm×横14.7cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 ③識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 裏見返しに 「嘉永五壬子年新鑄 河内屋茂兵衛 大坂書林 秋田屋太右衛門」				
③ 見返しに 「嘉永甲寅七年 四月三日 とらやおきん」				
⑦ 内題「女庭訓往来」				

番号 09-03	書名 文しなん 全(09-03-1) 表紙欠落の巻(09-03-2)		刊写年時(含伝承) 江戸期カ 刊	残存 全 存
巻数 2巻	数量 2冊	全 一 29丁 二 16丁	寸法 表紙①縦18.2cm×横12.3cm ②縦17.8cm×横11.5cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・版面が上下二段に分かれ、上段は色事のコツを記してあり、下段はそれにかかわる男女の手紙の文例である。随・唐代の医学書「医心方」(房内篇)を下敷にした艶本の一種と思われる				
・序に「東部一隗為山しるす」				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
09-04	俳諧留		江戸期カ 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	29丁	表紙 縦23.5cm×横15.5cm	
資料の所見 1刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
⑦・表紙なし。朱で書き込みあり、墨で絵 (写生) 入り				
・俳句の手控帳カ				

(81) 教理・教派

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
81-01	頭書 窈誓伝		天明四年 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	27.5丁	表紙 縦25.6cm×横16.5cm	
資料の所見 ①刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
① 「貞享四丁卯年七月十六日				
入江与九郎				
書林 大阪北御堂前 開板」				
毛利田庄太郎				
② 裏見返しに朱書きで				
「天明四辰年親壽養斬宥性書之				
天明五己年二月中校合々ル 智仙鍔匡				
⑦ 表紙に墨書で				
「金剛佛子				
智仙鍔匡」				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
81-02	仏像図彙 卷一、五		寛政八年 刊	卷一、五 存
巻数	数量	全	寸法	
2巻	2冊	一 8.5丁 五 19.5丁	表紙 縦22.3cm×横16.0cm	
資料の所見 ①刊記 2奥書 3識語 4極札 5箱書 ⑥広告 ⑦その他				
①⑥ 卷五裏見返しに 「五百羅漢図繪 全部三卷刷刻 彫工 浪華 内田久左衛門 寛政八年丙辰孟冬求板 六角通御幸町西江入ル町 小川 多左右衛門 書林 醒ヶ井通五條上ル町 巽 佐右衛門」				
⑦・序跋あり (略)				
・卷一は序と目録、引用書目録のみ。卷五は図彙				

番号	書名		刊写年時 (含伝承)	残存
81-03	御文章 三		文化五年 写	全 存
巻数	数量	全	寸法	
1巻	1冊	79丁	表紙 縦23.0cm×横16.3cm	
資料の所見 1刊記 ②奥書 3識語 4極札 5箱書 6広告 ⑦その他				
② 「時 文化第五年 閏六月廿二日写之 沙門僧■」				
⑦・朱と墨で書き入れ				
・仏教の教え				

明治期以降の史料一覽

項目 分類番号	表 題	編著者・発売元	発刊年	形態	備考
総 記 01-03	羽陽叢書 卷一～八	新貝卓次編輯 惟善堂版	明治15年 4月再版	冊子	刊
01-04	新刻日本史略	栗田 勤 編	明治17年 4月	冊子	刊 (整版)
01-05	増補 仙臺鹿の子 全	大内源太右ヱ門 著・版	明治32年 5月	冊子	刊 (活)
01-06	上杉謙信公	米沢市学事会発行 高村綱男編	昭和3年 4月	冊子	刊 (活)
01-07	山形史蹟巡		昭和6年 ～8年	冊子	刊 (ガリ版)
01-08	新編郷土史 岩手の歴史	岩手日報社発行 板橋源也 著	昭和29年 6月1日	冊子	刊
01-09	米沢人士ニ関係アル 吉野朝勤王事蹟	米沢郷土館発行	昭和前期	冊子	刊
地理 03-04	世界國畫	福沢諭吉 著	明治5年 10月	冊子	刊 (巻一のみ)
03-05	山形県西村山郡地図	西村山郡役所調 製	明治20年 11月	一紙	
紀行 05-01	西征日誌	菊池対三	明治11年 7月	冊子	写(西南戦争 の従軍記)
博物・医 学・理数 06-06	方金輯要 上之卷	白井為賀算輯 知足庵主人青梅 源謄写	明治26年	冊子	写
06-07	かてもの	山形県高島実科 高等女学校 刊	昭和9年 11月	冊子	刊 (ガリ版)
06-08	かてもの	米沢市役所発行 赤井運次郎 編	昭和15年 6月	冊子	刊
美術・ 芸能 07-01	無駄がき 卷之一	基泉	大正以降	冊子	刊写(ガリ 版と手書き)

項目 分類番号	表 題	編著者・発売元	発刊年	形態	備考
07-02	花かたみ	渡辺虹衣 編集・発行	昭和13年 11月	冊子	刊 (活)
文芸 08-94	西南太平記 四編 卷之下 (小説)	沼尻紀一郎 編 輯	明治10年 4月	冊子	刊
08-95	古今俳諧 明治五百題	東旭齊 編集 橘田春湖 撰 三森幹雄	明治12年 9月	冊子	刊 (春夏の部) 欠
08-96	開花さわりどどいつ (俗謡歌集)	小森宗次郎 編 (編集兼出版)	明治13年 5月	冊子	刊
08-97	開花教訓 道戯百人一 首全 (雑書)	立斎広重 編輯 文盛堂 梓	明治16年 3月	冊子	刊
08-98	小倉百人一首	近岡文助 編輯	明治19年 1月	冊子	刊 (謄写版)
08-99	南州翁逸話 全	川崎三郎 編	明治27年 3月	冊子	写 (謄写版)
08-100	さざれ石 第貳集		明治27年 頃カ	冊子	写
08-101	小倉百人一首		明治36年	冊子	刊 (謄写版)
08-102	出羽歌垣千枝歌集抄	後藤利雄筆写カ	大正7年	冊子	写
08-103	筆の雫	阿房浪人	大正8年	冊子	写
08-104	蕪村名蹟奥之細道屏風 記	素心庵 (記)	昭和17年 3月	冊子	刊
08-105	田舎ぶり紅畠 購入資 料		昭和18年 12月	冊子	写
08-106	苦界船乗合話咄 (慶応 3年の荘内洒落本の復 刻)	出羽方言研究会	昭和28年 3月	冊子	ガリ版
08-107	蟬塚と壺中	早坂忠雄 著	昭和30年 11月30日	冊子	活

項目 分類番号	表 題	編著者・発売元	発刊年	形態	備考
学芸・ 教育 09-05	輿地誌畧 一～三	益智館書籍・出版 会社版 内田 政雄 編輯 川 上寛	明治6年	冊子	刊
09-06	小学校修身書 三(実 験日本修身書 卷三 高等小学校生徒用)	木戸 麟 編 原 亮三郎 編	明治16年 8月	冊子	刊
09-07	小学校読本 卷二	金渚堂書籍株式 会社 発行	明治	冊子	刊
09-08	諸家の論(書写)		明治	冊子	写
教理・ 教派 81-04	(耶蘇教評)	井上甬水	明治カ	冊子	
礼儀・ 作法 95-01	諸扣帳	後藤利雄の身辺 の諸控	昭和16年 12月	冊子	

古文書史料目録 第27号

後藤利雄収集文書

2005年3月

編集兼
発行人 山形大学附属博物館

〒990-8560
山形市小白川町1丁目4-12

電話 023-628-4930
FAX
